

令和7年度第1回国分寺市地域福祉推進協議会

日時：令和7年7月2日（水）

午後2時～午後3時40分

会場：リオンホール（cocobunji WEST 5階）

出席委員 39人

【事務局】地域共生推進課重層的支援体制整備担当係長（渡部）、
地域共生推進課職員（大坂、二階堂）

次第

- 1 開会挨拶
- 2 会長及び副会長の互選について
- 3 令和7年度年間スケジュールについて
- 4 令和7年度国分寺市地域福祉推進協議会について
- 5 活動報告及び質疑応答（ナビゲーター）
- 6 グループワーク「活動情報・取組情報シートを深掘ろう」
- 7 閉会挨拶

資料

- 【資料1】国分寺市地域福祉推進協議会設置要綱
- 【資料2】令和7年度国分寺市地域福祉推進協議会年間スケジュール
- 【資料3】令和7年度国分寺市地域福祉推進協議会について
- 【資料4】ナビゲーター活動報告書
- 【資料5】令和7年度国分寺市地域福祉推進協議会委員の活動情報・取組情報
- 【資料6】グループワークの進め方
- 【資料7】グループワーク用ワークシート
- 【資料8】グループワーク名簿

開会 午後2時

1 開会挨拶

事務局より開会挨拶及び資料確認を行い、併せて記録作成のための写真撮影及び音声録音について説明を行った。

2 会長及び副会長の互選について

委員互選に基づき、宮崎会長及び小川副会長の選出の確認を行い、拍手にて承認した。

【宮崎会長挨拶】

皆様こんにちは。ただいま会長に御推挙いただきました、国分寺市民生委員・児童委員協議会の宮崎邦子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。会長としては力不足ではございますが、社会福祉協議会の小川副会長とともに地域福祉推進協議会の円滑な推進に努めてまいりますので1年間よろしくお願いいたします。国分寺市の地域福祉推進協議会は、設置されて今年度で10年目を迎えました。この間、国分寺市の地域共生社会の実現に向けて新たな取組を推進しながら国分寺市地域福祉計画実施計画及び3計画の達成状況の評価を行いながら、地域福祉推進協議会の意見として計画にも反映させていただいております。この経過の中で地域住民の福祉ニーズの多様化、複雑化へ対応しながら地域のプラットフォーム的な役割を担ってまいりました。これも皆様の地道な活動が大きく寄与してきたことは言うまでもないことだと思います。昨年度は、つながり支え合う地域づくりを目指して「地域でつながる交流の場」をテーマに委員の皆様とエリアごとの地域の社会資源マップを作成しました。地域の魅力を発見する、どんな情報が足りないかなど皆様とともに探求しながら課題を共有してきたと思います。本日はナビゲーターとして活動報告をさせていただきますが、地域活動に欠かせないのが仲間づくりです。また、活動できる居場所があることも重要な条件です。今年度は仲間づくりを年間テーマに掲げておりますので、皆様の情報、活動情報それから取組情報シートを深掘りしながら様々なエリアで活動されている皆様と積極的に交流しながら地域福祉推進協議会の目的である、地域づくりに重点を置く活動を、更に展開していきたいと思います。皆様楽しく活動してまいりましょう。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

【小川副会長挨拶】

国分寺市社会福祉協議会事務局長の小川と申します。昨年度も副会長をさせていただきましたので顔見知りの方も多いと思いますが、宮崎会長を補佐してまた1年間務めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。国分寺市社会福祉協議会は、昨年1年をかけて、市の地域福祉計画と並び市民の計画として国分寺市地域福祉活動計画というものを作っております。名称も中身も双子のようですが、活動計画の方は市民が作ったということで、民生児童委員の方や自治会町内会の方、また関係団体の方と一緒に策定委員会を作りまして、懇談会やパブリックコメントを行い、今年の3月に策定したものでございます。市の福祉と社協は地域福祉の両輪と言われています。しっかりとこのことを念頭に置きながら皆さんと共有していきたいと考えております。資料8にありますように、非常に多岐にわたる国分寺の地域福祉を支えていただいている皆さん、個人の方はじめ、社会福祉法人、一般社団法人やNPO法人など、いろいろなところから集まっています。これだけの組織の方から代表者を出していただいている会議はこちら以外にないと考えております。ですので、社協で言えば、ここねっとのリスタート、再編も考えておりますし、先ほど言った両計画の推進にかかわる部分、こちらを皆さんと一緒に共有できる場になるように、進

めていきたいと思います。この会も昨年同様ということではなくて、もう一度リストラクチャーして、もっともっと皆さんから御意見を頂きながらより高みに向かうような会議体にして参りたいと思いますので、是非とも御協力をよろしくお願いいたします。社協の計画については、社協のホームページにございますし、社協の本部の方に来ていただければ冊子も差し上げますので、是非とも御覧いただきたいと思います。簡単ですが以上でございます。よろしくお願いいたします。

3 令和7年度年間スケジュールについて

【事務局説明】

資料2「令和7年度国分寺市地域福祉推進協議会年間スケジュール」について説明する。第1回協議会開催後、第2回協議会を1月に開催予定としている。また、第2回協議会開催後には今年度の振り返りとして、2月頃に「活動情報・取組情報シート」を御提出いただき、3月頃に取りまとめたものを送付する予定である。

4 令和7年度国分寺市地域福祉推進協議会について

【事務局説明】

資料3「令和7年度国分寺市地域福祉推進協議会について」を説明する。地域福祉推進協議会は、地域で活動される皆様が集まり、地域の課題や社会資源などを共有し、意見を出し合うことで新たな関係性の構築や気づきを得て、地域に還元できることを探る取組が行われており、地域福祉の推進に係るプラットフォームとして展開されている。展開に当たっては「情報の発信」、「刺激の循環」、「魅力の発見」、以上の3つのコンセプトを設定している。

昨年度の令和6年度には、地域福祉推進協議会を開催するに当たり、3つのキーワードも設けた。一つ目は「集まれる場」、二つ目は「コーディネート」、三つ目は「ナビゲーター（進行役）」である。

今年度、第1回目のナビゲーターには、宮崎会長をお迎えした。

ナビゲーターの流れとしては、まず、ナビゲーターとして委員の皆さんとどんなことをやりたいか、「ヒアリング」を丁寧に行う。次に、ヒアリングをもとに企画案を一緒に作成して、目標やスケジュールを確認していく。そして、活動報告発表の準備を進めながら、グループワークの内容を検討・調整していき、協議会当日を迎えるといった流れで、進めていく。今後、このナビゲーターについては、事務局がサポートさせていただくので、少しでも御興味いただける委員の方がおられたら、事務局に問い合わせをしてほしい。

5 活動報告及び質疑応答（ナビゲーター：宮崎会長）

簡単な自己紹介及び活動エリアの特徴についての説明後、資料4「ナビゲーター活動報

告書」を説明する。以下、ナビゲーター（宮崎会長）の報告である。

活動内容としては、現在、「西町プラザのロビーを活用した多世代が交流できる居場所づくり」を行っています。

ひかりエリアの各委員と地域の居場所づくりについて話し合いを行う中で、私の方から地域活動の拠点となっている西町プラザのロビーを活用して、多世代が交流できる居場所がつかれないかと提案したところ、西町プラザの統括責任者も、兼ねてから西町プラザの特性を生かして多世代が交流できる場所にしたいとの思いを持っていることが分かりました。

そこで、西町プラザ、地域包括支援センター、民生委員、アドバイザーの地域福祉コーディネーターと居場所づくりについて話し合いを行いました。

その後、一緒に活動してくれるボランティアを募集するため、「西町プラザのロビーでやりたいことはありませんか？」「興味のある方一緒にお話しませんか？」と地域の皆さんに参加を呼び掛けるチラシを作成しました。この呼び掛けに賛同してくれた地域の皆さんと居場所づくりのグループ「ひなたぼっこ西町」を立ち上げたところです。

この活動を立ち上げたきっかけとして、昨年度の地域福祉推進協議会があります。昨年度の地域福祉推進協議会では、「地域でつながる交流の場」をテーマに、6か所の地域包括支援センターのエリアごとにグループワークを行いました。地域に交流できる居場所をつくるために、各委員が活動している拠点や、地域の社会資源を洗い出しマップに落とし込み、見える化したことで、各委員が活動する地域ならではの魅力（強み）や生活課題（弱み）などの特徴を共有することができました。

次に、「掛け算で地域の活動を考えよう」をテーマに、「こんな取組があったらいいな」「こんな取組ならやりたい」などやってみたい地域活動のアイデアを出し合いました。

ひかりエリアには、地域活動の拠点となる「西町プラザ」があります。1階は、ロビー、事務室、図書室、児童館、2階には、地域センター（調理室・会議室・和室）そして生きがいセンターがあり、乳幼児からお年寄りまで多世代の方が利用している複合施設です。

各委員と西町地域の活動について意見を出し合う中で「西町プラザの特性を生かして多世代が交流できる場を設置したい」という意見と、また、「西町プラザのロビーを活用して地域の乳幼児からお年寄りまでが交流できる居場所を作りたい」という意見が出ました。このように委員同士が連携・協力することで、新たな地域の魅力を発見することができました。

そこで、ひかりエリアの委員と地域の皆さんにも声掛けして居場所づくりのグループ「ひなたぼっこ西町」を立ち上げました。

居場所づくりに向けてどのように活動を進めているのか、時系列順に御説明いたしますと、まず、3月31日にひかりエリアの、西町プラザ、民生委員、地域包括支援センタ

一、地域福祉コーディネーターのメンバーと西町プラザの居場所づくりについて話合いの場を持ちました。その際、今後の活動に参加してくれるメンバーを募集するためにチラシを作成することになりました。

「西町プラザのロビーでやりたいことを話し合う第1回懇談会を開く」という内容のチラシが4月9日にできあがり、西町プラザ、民生委員、地域包括支援センター、地域福祉コーディネーターのメンバーをとおして地域の皆さんに参加を呼びかけることとなりました。

そして、4月24日に第1回懇談会を西町プラザで開催しました。この懇談会には、西町プラザ、地域包括支援センター、民生委員、地域福祉コーディネーター、地域で活動している皆さんなど12名が参加してくださり、活動の主旨説明と参加者の自己紹介と活動紹介も行いました。

5月9日には、第2回懇談会を開催し、グループの名前を「ひなたぼっこ西町」と決定しました。また、西町プラザのロビーでカフェを運営することを前提にやってみたい企画などを出し合い、5月17日の西町プラザ利用者協議会へ参加して活動の主旨説明を行ってから活動を開始することとなりました。

西町プラザのロビーでカフェを運営するに当たり、この第2回懇談会の後には、福祉センターのカフェを見学しました。地域福祉推進協議会事務局（地域共生推進課）と地域福祉コーディネーターが参加し、福祉センターの管理者と館長にカフェ開設の経緯と運営面の話を伺いました。

5月17日には、西町プラザ利用者協議会に出席し、西町プラザのロビーを活用した多世代が交流できる居場所づくりの活動について主旨説明を行いました。特に質問は出ませんでしたが、閉会の後、参加していた「しの笛」のグループの方と「みんなのキッチン」の方から、是非一緒に活動したいのでいつでも声をかけてほしいという嬉しいお声を頂きました。

6月13日には第3回懇談会を開催しました。ここでは、第2回懇談会の振り返りと福祉センターのカフェ見学、西町プラザ利用者協議会の報告も行いました。西町プラザのロビーでカフェを運営するに当たり、福祉センターのカフェを参考にさせていただきながら、今後の進め方やカフェの運営方法と経費について話合いました。また、本日第1回推進協議会で居場所の立ち上げの事例として、ひなたぼっこ西町の進捗状況について報告することを説明しました。

今後の展開としては、これからの進捗状況をみながらですが、西町プラザのロビーで月1回のペースで、コーヒーを飲みながらゆっくり交流できる「カフェ」を開きたいと思っています。そして、スタッフとカフェの運営が軌道に乗ってきたら、西町プラザで活動している皆さんと、ワークショップやロビーコンサート、読み聞かせ、防災講座や各種出張相談など様々なイベントとコラボして地域の皆さんの楽しい居場所にしたいと思っています。

以上、ナビゲーター活動報告である。

活動報告終了後、感想をワークシートに記入し、質疑応答に移った。

6 グループワーク「活動情報・取組情報シートを深掘ろう」

資料6「グループワークの進め方」に沿って実施した。グループワークを行う前にアイスブレイクとして「しりとり自己紹介」を行った。グループワークでは、各委員が自分の活動について報告し合い、活動情報・取組情報シートを見ただけではわからなかった新たな一面の発見をした。

今回は活動エリア関係なくバラバラの状態でグループを編成したが、1月に開催予定の第2回目では地域ごとのグループに戻る予定である。今回のグループワークを通して得た新たな気づきを自分の地域に持ち帰り、それを掛け算することで、自分たちの地域の強化に役立てて欲しいと考えている。

7 閉会挨拶

【宮崎会長】

お時間もなかなか十分に取れない中で作業していただきありがとうございました。以上で議事が全て終了いたしました。本日はこれで閉会させていただきます。お帰りの際は、本日ワークシート4枚を皆様に御記入いただきましたのでそれを受付で提出してお帰りいただきますと思います。まだまだ猛暑が続きますので、熱中症に気をつけて地域で頑張っていただけたらと思います。本日は長時間ありがとうございました。お疲れ様でした。

閉会 午後3時40分